野球・ソフトボール外来

小・中・高生、大学生および社会人の野球・ソフトボールプレイヤーのために専門外来を行なっています

担当医師：木島 丈博先生

＊担当医師からのコメント

スポーツ障害は多岐にわたりますが、治療にあたる際に共通することは全身を総合的にみていく必要があるということです。野球でいえば投球動作や打撃動作には、下肢・体幹・ 肩甲帯・上肢のスムーズな連携が必要です。まずは診察の中で肩・肘などの痛みの局在、原因を把握することが重要ですが、さらにその痛みにつながる全身の身体的な要素も理学療法士と連携をとりながら評価し、治療を行っていきます。 私自身も学生時代に野球をやっておりましたが、中学1年時に右肘の軟骨障害（離断性骨軟骨炎）を発症し投球不能になり、左投げに転向したという経験があります。（ちなみに今は右投げです。）当時の、軟骨がはがれたときの肘の痛み、そして野球ができなくなるのではないかという心の痛みは大変苦い記憶として残っております。そのような経験もふまえ、みなさんの年齢、学年、立場に応じて競技復帰のための最善のサポートができればと考えております。

＊野球の活動歴　　**2019年 U18高校野球日本代表チームドクター**

＊診療日　**毎月第２金曜日　17：00～**
第３土曜日　　9：30～　（都合により変更する場合もありますので必ずHPでご確認ください）